

初心

2015年新春号

平成27年1月発行
年2回刊

題字/福田富一 書

<発行所>

福田富一
暮らしと政治研究所

〒320-0026
宇都宮市馬場通り2丁目1番12号
TEL 028(633)1111
http://www.tomikazu.com

「初心に帰り 力尽くす」

栃木県知事 福田富一



11/21 全国青少年補導センター連絡協議会栃木大会in宇都宮にて

栃木の未来に希望を

知事就任11年目にあたり

去年の年頭に際し、心よりお慶びを申し上げますとともに、日頃のご厚情に感謝申し上げます。

昨年(12月9日)で3期目の3年目に入りました。初心に帰って精一杯、これまで以上に力を尽くして参りますので宜しくお願い申し上げます。

―節目の年―

今年(12月)は終戦70年、昭和に置き換えれば90年の節目の年です。戦争体験者と言われる75歳以上の方の占める割合は約1割だそうです。戦争を風化させず、平和の尊さとともに、次の時代に受け継いで参ります。

不易流行を改めて問い、今年(12月)は、金だけ、自分だけの『三だけ主義』や高齢者などから多額の現金をだまし取る『特殊詐欺』などの流行は願わぬままに下げてまいりましょう。

―昨年を振り返って―

「ひかりの郷・日光国体」から始まった昨年は、若者が大活躍した。国体ではアイスホッケーが総合優勝、日光アイスバックスは、年末の全日本選手権で残り2秒での劇的勝利を収め、初の日本一の栄冠に輝いた。

水泳・柔道・卓球では、世界を舞台に本県出身者の活躍

に目を見張った。

自転車では、宇都宮ブリツツエンが2度目の総合優勝、那須ブラーゼンが5位入賞、ホンダ栃木は下位クラスで優勝し、両チームとともに日本一を争うことになり、話題満載、自転車の栃木も目が離せない。

産業分野では、昨上半期(1月～6月)の工場立地件数が3位にランクされた。太陽光発電の件数を除いても5位となった。下期(7月～12月)には、産業用ロボット等の生産で世界一の企業と言われているファナック(株)が立地することになるなど、通年発表が楽しみな状況にある。

栃木県名誉県民には12年ぶりに、作曲家船村徹先生とジャズサックス奏者の渡辺貞夫先生を顕彰致しました。更なる2人の御活躍を期待したいと思います。

―この冬も―

いちごの国の国王に―

いちごのスカイベリーが今シーズンから本格出荷となりました。栽培農家は約190軒、面積も12ヘクタール以上に拡大したことにより、流通量も倍増。栽培マニュアルの徹底等により品質も向上し、市場や消費者の評価も高く、初セリで1個2500円の値段がつき、いちご王国の面目を飾りました。年末には東京で国王に扮

し販売促進活動を行った。テレビ各局の放映等もあり2度目のコスプレに反響があった。

―ニラの新品種―

「ゆめみどり」誕生―

本県はニラの生産量日本一を誇ってきたが、このところ高知県にその座を明け渡している。日本一「ゆめみどり」の開発に成功しこの程公表した。現品種より1割程収穫が多く、生育が旺盛で収穫作業が容易なのが特徴である。

―平成27年度の主な施策―

(人づくり・安心戦略・成長戦略など)

女性の活躍推進、東京オリピック等キャンペーン地誘致(2020年)、国体に向けたのスポーツ施設の整備(2022年)、新とちぎ百選の選定、障害者スポーツ施設の整備、技能五輪全国大会及びアピリンピックの開催準備(2017年)、健康づくりの推進、日光東照宮四百年式年大祭、英国大使館別荘整備(2016年)、本物の出会う(2016年)。

また、国家的課題である地方創生や国土強靱化などに取組んで参ります。

結びに、未年にちなみ皆様方「メイメイ」が実り多い1年となりますよう御祈念申し上げます。新年の挨拶と致します。

県の魅力発信へ

絆の花 栃木で開花

ねりんピック栃木2014



主催者あいさつをする福田知事

60歳以上のスポーツ・文化の祭典、第27回全国健康福祉祭とちぎ大会「ねりんピック栃木2014」(厚生労働省、栃木県など主催)が、10月4日から7日まで県内各地で開催された。4日、総合開会式が行われた宇都宮市の県総合運動公園陸上競技場には、47都道府県と20政令指定都市の選手団を含め約1万6千人が来場した。主催者あいさつで福田知事は「大会を通じて、県民はもとより大会に参加される全ての皆さまが健康長寿を実感し、謳歌してほしい」と挨拶。その上で「ぜひ栃木のおいしいもの、豊かな

自然、歴史文化についても、深まる秋の中で大いに満喫して下さい」と全国の選手団を歓迎した。式典に続き行われたアトラクションでは、本県の小中学生から地域で活躍する大人までが元気な「ねりん世代」を歓迎した。

経済効果は88億円

県は11月25日、「ねりんピック栃木2014」の経済波及効果を推計で88億3200万円だったと発表した。福田知事は「大会期間中に接近した台風18号の影響で屋外競技やイベントの一部が中止になり、100億円の目標は達成できなかったが多額の経済効果をもたらされたと思う。大会準備も入念に行われ、適切なおもてなしで全国の選手をお迎えできた」と評価した。

とちぎ未来大使と福田知事

県庁で意見交換会

県の魅力をPRする「とちぎ未来大使」から、ブランド力向上や発信力強化に向けて提言を聞くため、県は10月25日、県庁で福田知事との意見交換会を初めて開いた。県内にゆかりのある人たちに県が委嘱する「とちぎ未来大使」は25日現在で299人。意見交換会には県内外から文化や芸能、スポーツ、経済など各分野の男女33人が出席。福田知事の進行で一人一人が挙手して意見を述べた。「人が集まる日光や宇都宮

に、県のおいしいものが集まる台所のような施設を造つては」と書道家の涼風花さん。作家の水樹涼子さんは県産織物の結城紬や足利銘仙の着物をさまざまな場で着られるようなレンタル制度があればいいと話した。作家の森詠さんは海外から来た人に理解できるように外国語の案内表示を増やすことなどを求めた。「県内各地の物が食べて着られることは栃木を知るきっかけになる。頂いた意見は検討を始めたい」と福田知事。

「食と農トークセツション」開催

25日県庁で始まった「とちぎ食と農」ふれあいフェア2014の会場で開催



同日開催された「食と農トークセッション」で福田知事(左)と涼風花さん(中央)、ガッツ石松さん(右)

人を引きつけ 選ばれる栃木に

販路開拓へ県産品アピール

シンガポールでトップセールス



ナシ「にっこり」の試食を客に勧める知事

産のナシ「にっこり」などを来場者に振る舞い、県が誇るブランド農産物をPRした。午後は日本貿易振興機構(JETRO)シンガポール事務所と伊勢丹シンガポール店を訪問。東南アジアでの販路開拓に関する情報交換や、県産農産物・加工食品の取り扱いの依頼、安全性のPRなどを行った。

県産農産物や加工食品の輸出拡大や販路開拓を図るため、福田知事は10月15日～18日にシンガポールを初訪問し、トップセールスを行った。訪問団は福田知事や水沼裕治農政部長、荒川政利産業労働観光部長、高橋武J A 栃木中央会長ら計13人。15日にシンガポールに入り、16日は東南アジア最大の日本食品見本市「Oishi JAPAN 2014」の本県ブースで「とちぎ和牛」や、特

海老沼選手に県スポーツ功労賞

県は10月22日、8月にロシアで開かれた柔道の世界選手権(世界柔道)の男子66kg級で金メダルに輝き、3連覇を達成した小山市出身の海老沼匡選手(24)に、知事特別表彰の県スポーツ功労賞を授与した。世界柔道3連覇は日本男子5人目で、軽量級では初の快挙。県スポーツ功労賞の授与は4度目となる。「去年と同じでは勝てない。進化を心掛け試合に臨んだ」と海老沼選手。福田知事は「次の目標は来年度の世界選手権、再来年のリオ五輪。東京



福田知事からスポーツ功労賞を授与された海老沼匡選手(右)

五輪も期待している」と激励した。

このページは、下野新聞、読売新聞、朝日新聞、毎日新聞、産経新聞、東京新聞、日本経済新聞、の記事を抜粋させていたたきました。

「国保移管で具体策を」

政府主催 全国知事会議

11月7日、政府主催の全国知事会議が開かれ、全国知事会社会保障常任委員長の福田知事は、市町村が運営する国民健康保険（国保）の都道府県単位への移管について「国から（赤字解消など）構造問題解決の具体策が提示されていない」と対応の遅れを指摘、「国費投入の規模などを一刻も早く提示し、地方と十分協議をしてほしい」と要望。安倍首相は「地方の意見を聞きながら改革に取り組みたい」と述べた。

国保の都道府県移管は、運営規模を大きくすることで財政基盤を安定させることなどが目的だが、各市町

村国保が抱える赤字などが移管への壁になっている。

会議のメインテーマは地方再生。

福田知事は政府側の答弁について「地方の独自性を尊重するトーン。これからはわれわれの力量が試される」と評価。地域の発案に対し国が支援する新たな仕組みについて「県の特性を生かし、市町と協議しながら具体策を組み立てる」とした。

公定価格 適正水準に

関東地方知事会

10月22日、都内で今年度2回目の関東地方知事会が開かれ、本県の、子ども・子育て支援新制度に関する、単価水準の適正化を求める提案など

10都府県案を国に提案・要望することを決めた。本県提案の「東京五輪・パラリンピックの成功へ関東知事会として全力を尽くす」という決議も全会一致で可決された。福田知事は「新制度移行を前に現場に混乱が生じている。早く収めなければならぬ」と要望の重要性を強調。五輪では「栃木の思いが盛込まれた」と述べた。



関東知事会での福田知事(左)

11月3日、「とちぎのきのこフェア」で来場者に配るキノコを大鍋からよそる福田知事(中央)



東奔西走の日々

- ◇7月9日 都内で全国知事会社会保障常任委員会(委員長・福田富一知事)／介護人材確保 国に提言へ
- ◇7月15日 佐賀県で全国知事会議／少子化非常事態宣言をまとめる。
- ◇7月29日 都内で「とちぎ企業立地・定着促進セミナー」／「本県への理解を深め企業進出を」
- ◇7月31日 都内の英国大使館を表敬訪問／誘致パンフを示し「栃木でキャンプを」と英国代理大使に要請。
- ◇8月5日 知事と語ろう！とちぎ元気フオーラム in 宇都宮女子高／「自分を信じて挑戦を」とエール。
- ◇8月20日 宇都宮地区プロジェクト別市町村長会議／首長と意見交換。
- ◇9月7日 那須連山を美しく／登山客らにごみの持ち帰りを呼びかける。
- ◇9月18日 知事と語ろう！元気フオーラム in 宇都宮高付属中／「県PRがブランド力につながる」と協力を促す。
- ◇10月1日 赤い羽根共同募金開始／繁華街で募金の協力を呼び掛ける。
- ◇10月8日 都内で県産銘柄牛PR／認知度アップ、消費拡大を図る。
- ◇10月30日 都内で「とちぎ企業誘致セミナー」／「未来を開く可能性を秘めた栃木県への立地をご検討を」。
- ◇10月30日 都内で伊の出版社・ガンベロロン社幹部と県が進めるフードバレー構想などについて意見交換。
- ◇11月3日 東武鬼怒川温泉駅前広場で「とちぎのきのこフェア」開催／県産キノコの安全性をPR(写真)。
- ◇11月28日 モンゴル大使が表敬訪問／「交流を深めたい」と知事。
- ◇11月30日 日光いろは坂女子駅伝大会／「箱根駅伝に匹敵する大会に育ってほしい」と期待を込めて挨拶。
- ◇12月9日 都内で「いちご王国とちぎクリスマススカイベリーパーティ」／国王に扮しスカイベリーをPR。
- ◇12月10日 宇都宮市中心街で特別パトロール／事件事故防止を呼掛ける。

宇都宮に 2015年4月1日

ジェトロ栃木 開設

企業の海外展開を支援する日本貿易振興機構(ジェトロ)は11月27日、ジェトロ栃木貿易情報センターを2015年4月1日、宇都宮市ゆいの杜1丁目のとちぎ産業交流センター(とちぎ産業創造プラザ内)に開設すると発表した。宮本聡副理事長は同日、県公館で福田富一知事に設置決定通知書を手渡した。

ジェトロは海外56か国に74拠点をもち、県内企業の海外展開、県産品の海外販路開拓をサポートする。北関東のジェトロの拠点は水戸市に次いで2カ所目。国内では42番目の事業所となる。

福田知事は「ジェトロの専門的な



宮本副理事長(右)から設置決定通知書を受け取った福田知事

処分場整備「自然を守る」

知事、塩谷の候補地初視察



環境省の担当者から説明を受ける福田知事(中央)

福田知事は9月24日、指定廃棄物最終処分場の候補地として提示された塩谷町上寺島の国有林を視察するとともに、町民らが反対の理由の一つとして挙げている尚仁沢湧水を訪れた。福田知事が候補地を視察したのは初めてで、見形和久町長や県指

定廃棄物処分等有識者会議の鈴木昇座長らも同行した。

福田知事は候補地近くを流れる西荒川の下流側から視察を始めた。候補地周辺では地形や水源との位置関係などについて環境省の職員から説明を受けた。近くに流れる川を確認し、知事らは土砂崩れの可能性や大雨の際の影響などについて質問した。

視察後、福田知事は「川を汚さない、山を荒らさない、人家を壊さないの三つを守ることが大前提で環境省には今後も求めていく」との意向を示した。その上で、「処分場を一刻も早く整備して指定廃棄物を安全な状態にしなければならぬ」という声なき声にも応えていかなければならぬ」と述べた。

日本の美を愛でる

日光東照宮での着物ショーにゲスト出演

世界遺産の日光東照宮客殿で着物のファッションショー「日本の美を愛でる」(下野新聞社主催)が10月10日開催され、女優の萬田久子さんらと共に福田知事がゲスト出演し、日本の伝統美である着物の魅力をPRした(写真)。

2015年の400年式年大祭を記念したプレイベントで、午後1時、同3時半と2回開催され約500人の観客が集まった。1時のショーに出演した福田知事は「毎年正月は和装で過ごすよう心掛けています。今後も和の心を大切にしながら日本人が日本人らしく生きられるよう努力したい」と挨拶した。



向井亜紀さんをお迎えして

文化講演会

『身体の内側と会話を続け、自分の身体をいとおしいと思うこと』など。これらの気持ちをもち続けることで、人は美しく輝いて生きることができると力強く話された。



向井さんの言葉は、会場の多くの方々の心に深く刻まれ、沢山の勇気と希望を与えてくれた。

知事就任の日を記念して

知事と語る会

9月25日、宇都宮グランドホテルを会場に、タレントの向井亜紀さんをお迎えし、恒例の文化講演会が600名余の参加者を得て開催された。

向井さんは35歳の時に子宮頸ガンにより小さな命を失い、今日までに18回の手術を繰り返し、返してこられた。そんな過酷ともいえる運命のもとで、いかにして前向きに生きること

恒例の『知事と語る会』が11月19日、宇都宮グランドホテルを会場に150名余の参加者を得て開催された。

知事はまず、魅力ある県をPRするために映画を製作したことや、スカイベリーが海



外向けに初出荷されたこと、日光自動車道を通行止めにしてハイウェイエイマラソンや、いろは坂で女子駅伝大会を開催することなど、最近の話題を紹介した。

その上で、栃木県をブランド力が高い県にするためには、私たち県民一人一人が郷土に誇りと愛着を持つこと、そして県外に発信していくことが大切で、そのことが地域の活性化にも繋がると結んだ。

もちつき大会

1000名の参加者を迎えて



12月7日、32回目となる『もちつき大会』が今宮公園で開催された。穏やかな天候に恵まれ、家族連れなど1000名を超える皆様にお出で頂き、つきたての餅、けんちん汁、しぼりたての牛乳などが終了時間を待たずに品切れとなった。大盛況のうちに1年を締めくくることができた。

『福田家の茶の間』

2014年は、良いことも悪いことも含めて生涯忘れられない年となった。父の弔事と追善供養のための仏事、そして親族の弔事が相次ぎ、私たちは、長男として、長男の嫁として、長女としての自覚を新たにした年でもあった。さらに、夫が知事就任11年目、私たちが結婚33周年、私が還暦を迎えた。私は単なる通過点と特別何も考えていなかったが、夫が1日遅れでケーキを買ってきて祝ってくれた(写真)。大きな『6』の



昨年の子供たちもそれぞれに転機を迎えた。長男は結婚(入籍、式は1月)して新居を構え、二男は東京に転勤となり、長女も就職が決まり慌ただしく引越して行った。これまで私たちのことは、皆様にお世話になりながら頑張ることで何とかしてきたが、子供たちのことは、ただ見守ることしかできず、はがゆい思いをしている。それぞれの人生を切開いて幸せになつて欲しい。そして我が家は夫と私とも(バグ)の3人? になった。娘が『ももちゃんズ』と呼んでいつも一緒にいたものは、1人置いていかれ元気がなくなった。そんな娘は毎日「おはようとおやすみコー」をしてくれる。ももは「抱っこ、抱っこ」とせがみ、受話器を耳に当てると、娘の話しをじっと聞いている。そんなももに私たちは癒されている。皆様にとりまして本年が穏かな良い年になりますように!

編集後記

知事は年頭「初心に帰りこれまで以上に力を尽くす」と述べている。いつも全力投球の知事。「初心」はそんな知事を一人でも多くの皆様にご理解頂きたく分り易くまとめています。どうぞご一読下さい。



◆福田富後援会総連合会事務所
◆福田富一暮らしと政治研究所
宇都宮市馬場通り2-1-12
電話 028(633)1111
FAX 028(633)1110